

<平成 20 年度日本水産学会春季大会シンポジウム>

アサリ資源の増殖を目指した流域圏の環境管理

日時・場所：平成 20 年 3 月 31 日 9:00～18:00 第 2 会場 (8 号館)

企画責任者 生田和正・日向野純也 (水研セ養殖研)・桑原久実 (水研セ水工研)・辻本哲郎 (名大院工)

9:00～9:10	開会の挨拶	生田和正 (水研セ養殖研)
	I. アサリ資源の現状と沿岸海域の環境	座長 桑原久実 (水研セ水工研)
9:10～9:40	1. アサリ資源研究の新しい視点：幼生加入過程	関口秀夫 (三重大生物資源)
9:40～10:10	2. 三河湾のアサリ資源の現状と漁場環境	岡本俊治 (愛知水試)
10:10～10:40	3. 伊勢湾のアサリ資源と漁場環境	水野知巳 (三重科技セ水産)
10:40～11:10	4. 貧酸素水塊の発生機構に関する数値解析	中田喜三郎 (東海大)
11:10～11:40	5. 河川負荷の変動がアサリ生息域の環境に及ぼす影響	児玉真史 (水研セ中央水研)
11:40～11:50	質疑	
	II. アサリ資源増殖と漁場環境回復の課題と取り組み	座長 生田和正 (水研セ養殖研)
12:50～13:20	1. 底質の安定性からみた好適アサリ生息場環境	桑原久実 (水研セ水工研)
13:20～13:50	2. 貧酸素の問題と対策の方向性	日向野純也 (水研セ養殖研)
13:50～14:20	3. 三河湾の環境修復に向けた取り組み	青山裕晃 (愛知水試)
14:20～14:50	4. アサリ漁場改善の試み	丸山拓也 (三重科技セ水産)
14:50～15:00	質疑	
	III. 流域圏の管理に関する研究の現状	座長 日向野純也 (水研セ養殖研)
15:00～15:30	1. 自然共生型流域圏管理ビジョンへの統合	辻本哲郎 (名大院工)
15:30～16:00	2. 河口汽水域における流況と貝類生息環境	天野邦彦 (土木研)
16:00～16:30	3. 海域生態系への陸域系環境負荷とその緩和技術	野原精一 (国環研)
16:30～17:00	4. 河川の水・物質動態と生物生産機構	戸田祐嗣 (名大院工)
17:00～17:10	質疑	
17:10～17:55	総合討論	座長 辻本哲郎 (名大院工)
		関口秀夫 (三重大生物資源)
		桑原久実 (水研セ水工研)
		日向野純也 (水研セ養殖研)
		生田和正 (水研セ養殖研)
17:55～18:00	閉会の挨拶	日向野純也 (水研セ養殖研)

企画の趣旨

近年、アサリ、ハマグリ、ヤマトシジミなどの二枚貝の資源水準が極めて低迷しており、増殖のための様々な努力が講じられているものの資源回復には至っていない。その一因として、沿岸漁場環境に種々の問題があると考えられている。沿岸環境は陸域の影響を強く受けることから、流域の土地利用や生産活動、河川からの流入負荷などを切り離して考えることは出来ない。中部地域の伊勢湾・三河湾は我が国のアサリの主要産地であるが、1990年代半ば以降生産量は低迷しており、ア

サリ資源の回復を目指した漁場造成、底質改善、浚渫窪地修復等の事業が取り組まれている。さらに、河川からの土砂・栄養塩類流出等の機構解明と制御による生態系サービスの回復など自然共生型環境管理技術の開発を目指した土木工学や環境学と連携した学際的な研究が始動している。本シンポジウムでは、これらに関する最新の研究成果を取りあげ、アサリ資源回復に向けた沿岸漁場管理に関する今後の新たな研究の方向性を探ることを目的とする